Creative Enzymes®

ピロコッカス・フリオーサス由来のGDP-マンノースピロリン酸化酵素、組換え

Cat. No. NATE-1504

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、マンノース-1-リン酸グアニリルトランスフェラーゼ（EC 2.7.7.13）は、次の化学反□を触媒する酵素です：GTP + α-D-マンノース 1-リン酸 → 二リン酸 + GDP-マンノース。したがって、この酵素の二つの基質はGTPとα-D-マンノース 1-リン酸であり、その二つの生成物は二リン酸とGDP-マンノースです。
別名	GTP-マンノース-1-リン酸 グアニル基転移酵素; PIM-GMP; GDP-マンノース ピロリン酸化酵素; グアノシン 5'-ジリン酸-D-マンノース ピロリン酸化酵素; グアノシン ジリン酸マンノース ピロリン酸化酵素; グアノシン 三リン酸-マンノース 1-リン酸 グアニル基転移酵素; マンノース 1-リン酸 グアニル基転移酵素 (グアノシン 三リン酸); マンノース-1-リン酸 グアニル基転移酵素; EC 2.7.7.13

製品情報

種	パイロコッカス・フリオーサス
由来	E. coli
EC番号	EC 2.7.7.13
CAS登□番号	37278-24-3
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1ユニットは、37°Cでマンノース-1-PとGTPから1μmolのGDP-Manを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。